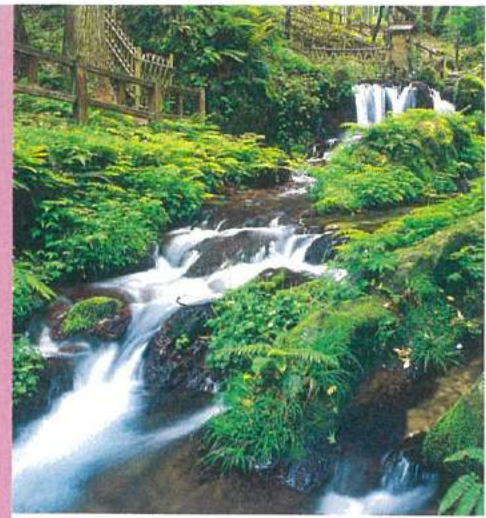


福井しあわせ元気国体 2018

第73回 国民体育大会

織りなそう 力と技と美しさ



明治150年記念



第73回国民体育大会

ゲートボール競技会



はびりゅう

平成 30年 9月 1日(土)・2日(日) 若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」

◆主催  公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・福井県・  公益財団法人日本ゲートボール連合・若狭町

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

目 次

〔1〕 開催実施要項	1
〔2〕 大会役員	4
〔3〕 競技会役員	8
〔4〕 競技役員	9
〔5〕 競技運営要項	10
〔6〕 式次第	11
〔7〕 競技日程	12
〔8〕 都道府県別参加人員	13
〔9〕 競技会結果	14
〔10〕 協賛・協力企業各社	19
〔11〕 テレビ放送	19
〔12〕 会場図	28
記録写真	29

〔1〕開催実施要項

1 期 日 平成30年9月1日(土)から9月2日(日)まで(2日間)

種 別	9月1日(土)	9月2日(日)
男 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦
女 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦

2 会 場 若狭町 若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チ ー ム 数	小 計	合 計 (人)
男 子	1	8	16	144	288
女 子	1	8	16	144	

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則

ア 競技は、公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。

イ インサイドラインとアウトサイドラインの間隔は、50cm～1mとする。

(2) 試合の方法

ア 都道府県対抗形式により、種別ごとにリーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。

① リーグ戦

16チームを4チームずつ4つのグループに分け、グループごとにリーグ戦を行い、順位を決定する。
各グループの上位2チームが決勝トーナメント戦に進出する。

※リーグ戦の順位決定方法は、次の順序による。

a 勝ち数

b 得失点差

c 対戦結果

d a～cにより決定しない場合は、抽選による。

② 決勝トーナメント戦

各グループの上位2チームによりトーナメント戦を行い、順位を決定する。

(3位決定戦を行う。)

イ 競技終了時に両チーム同点で、チームの総得点の内容で勝敗が決定しない場合には、公式ゲートボール競技規則第7条第2項2による。

5 予選方法

(1) 本大会実施要項に準じて、各地域ゲートボール協議会において予選大会を実施して、本大会に出場すべき代表チームを決定する。ただし、本大会に出場できる都道府県は、各種別上限1チームとする。

(2) 地域ゲートボール協議会区分及び代表チーム数は、次表のとおりとする。

地域協議会	加盟都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	2	2
北信越	新潟・長野・富山・石川	2	2
北関東	茨城・栃木・群馬・埼玉	1	1
南関東	千葉・東京・神奈川・山梨	1	1
東海	静岡・愛知・三重・岐阜	1	1
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	2	2
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	1	1
四国	香川・徳島・愛媛・高知	1	1
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	3	3
開催県	福井	1	1
合計		16	16

6 参加資格、所属都道府県及びチーム編成

(1) 参加資格

- ア 公益財団法人日本ゲートボール連合加盟団体に登録された者で構成されたチームであること。また、チームには必ず監督を置くこと。
- イ 選手は、中学生を含まない平成15年4月1日以前に生まれた者とする。
- ウ 監督は、種別を重複して参加することはできない。
- エ 監督及び選手は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- オ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

(2) 所属都道府県

監督及び選手の所属都道府県は、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかが属する都道府県から選択することができるが、選択した同一の都道府県ゲートボール団体に登録していなければならない。

ただし、地域ゲートボール協議会における予選大会に参加し、都道府県の代表として既に決定した後、やむを得ぬ理由により上記条件を満たさなくなった場合、公益財団法人日本ゲートボール連合が認めた時に限り、予選大会参加時の都道府県から参加することができる。

(3) チーム編成

各都道府県の男子及び女子の代表チームは、単独、補強または選抜のいずれかの方法によりチームを編成する。

7 表彰

- (1) 各種別の第1位から第3位までの都道府県に、賞状を授与する。
- (2) 参加者には、大会参加記念章を授与する。

8 参加申込み方法

- (1) 所定の「参加申込書」に必要項目を記入の上、所属する都道府県加盟団体代表者の承認を得て、平成30年7月27日(金)までに下記宛に郵送で提出すること。

申込先	宛先	提出部数
公益財団法人 日本ゲートボール連合	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目4番10号 TEL 03-5401-2251 FAX 03-5401-2252	1部

- (2) 参加申し込み後に変更が生じた場合は、所定の用紙に必要項目を記入の上、平成30年8月10日(金)までに、上記申込先に郵送で提出すること。(必着)

9 参加料

- (1) 監督及び選手の参加料は1人当たり2,000円とする。
(2) 参加料は、申込提出時に所属する都道府県加盟団体を通じて納入する。

10 参加上の注意

- (1) 服装
ア 先発競技者及び交代して出場する競技者は、公益財団法人日本ゲートボール連合が用意した打順の番号表示を着用しなければならない。
イ ユニフォームへの広告表示は認めない。
(2) チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。
(3) 監督及び選手は、各自の責任において健康管理に十分配慮の上参加すること。
(4) 競技中に負傷等が発生した場合は、主催者にて応急処置を行うとともに、主催者が加入する傷害保険の補償範囲内にて対応するが、以降の責任は負わない。
(5) 参加資格に違反等、その他不都合な行為があったときは、そのチームの出場を停止することもある。

11 個人情報の取り扱いについて

参加申込書(同意書を含む)に記載された個人情報については、以下の福井しあわせ元気国体に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) 福井しあわせ元気国体参加意思及び参加人数の確認
(2) 競技参加資格の確認(年齢、性別、所属、保護者の同意など)
(3) 参加案内等の送付
(4) 競技別プログラムの作成
(5) 賞状等の筆耕
(6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

12 その他

監督会議・組合せ抽選会

日時 平成30年8月31日(金) 午後3時

会場 若狭町中央公民館(リブラ若狭)

〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央1-2

TEL 0770-45-9112 FAX 0770-45-1115

〔2〕大会役員

平成30年8月10日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	林 芳 正			
会 長	伊藤 雅俊			
副会長	岡本 毅	遠藤 利明	泉 正文	鈴木 大地
	西川 一誠			
顧問	張 富士夫	森 喜 朗	安西 孝之	猪谷 千春
	岡崎 助一	ヨーコ セッターランド	森岡 裕策	平田 竹男
	林 孝 彦	具志堅 幸司	長島 昭久	佐久間 重光
	宇津木 妙子	有竹 隆佐	坂本 和彦	荒川 政利
	東地 隆司	山本 誠三	久保田 文也	寺尾 和祝
	辛木 秀子	竹田 恆和	友添 秀則	坂本 祐之輔
	佐藤 直子	村田 芳子	比留間 英人	坂 元 要
	松崎 康弘	菱沼 信夫	木 村 新	中村 康夫
	山 根 明	丸山 由美	二木 英徳	弘田 充宏
	堀内 光一郎	藤沢 信雄	小宮山 哲雄	市原 則之
	大島 研一	笠井 達夫	前原 正浩	宗像 豊巳
	田中 英壽	春田 恭彦	山本 正秀	中里 壮也
	高橋 清生	丹藤 勇一	柴 田 猛	田村 恒彦
	福本 修二	浪越 信夫	眞 下 昇	尾形 好雄
	山口 徹正	宮崎 利帳	栗原 茂夫	建部 彰弘
	市野 保己	本戸 歳知	中村 ゆり子	齋藤 良太郎
	松橋 達生	野端 啓夫	早坂 義弘	井 上 弘
	岡崎 温	永田 圭司	浪岡 正行	宮本 英尚
	村越 真	園山 和夫	山倉 和彦	衣笠 剛
	知念 かおる	伊部 廣明	田邊 哲人	中村 節夫
	碓井 進	霜 觸 寛	大沢 陽子	平藤 淳
	鈴木 省三	茂木 優	小川 潔	佐藤 弘樹
	高橋 貴子	松本 博崇	青木 寛	並木 一夫
	小野 力	赤池 隆廣	阿部 徹	丸山 隆義
	老月 守	向田 和義	宮塚 和彦	石川 恵一朗
	村木 啓作	城本 暁	木村 孝一郎	武田 暹
	桂 千恵子	伊地智 基幸	福井 基雄	高橋 博之
	油野 利博	松井 守	山本 航三	野村 雅史
	高井 信一	分木 秀樹	門田 泰広	川島 祥嗣

森下	博輝	東島	敏隆	荒木	健治	西村	浩二
井上	倫明	佐多	裕之	渡嘉敷	通之	山田	登志夫
菊山	直幸	黒川	光隆	林真	幾子	岡田	正治
堀部	定男	嶋岡	健治	久保	博	帖佐	寛章
寺澤	正孝	日枝	久	大八木	信行	笹部	俊雄
大東	和美	森正	博	荒川	昇	佐藤	広
金子	正子	水落	敏栄	新妻	秀規	戸谷	一夫
小松	親次郎	藤原	誠	今里	讓	稲田	朋美
高木	毅	山本	拓	芥木	武志	山崎	正昭
滝波	宏文	山本	文雄	東村	健治	有馬	義一
東村	新一	杉本	博文	青木	幹雄	井上	利治
小竹	英雄	横川	浩	青木	剛	田嶋	幸三
北野	貴裕	畔柳	信雄	大久保	尚武	中曾根	弘文
三屋	裕子	橋本	聖子	福田	富昭	河野	博文
三宅	義行	湧永	寛仁	安道	光二	藤重	貞慶
木下	宗昭	松尾	新吾	千玄	室	太田	雄貴
山下	泰裕	徳田	寛	綿貫	民輔	中野	秀也
松丸	喜一郎	岡村	正	八木原	圀明	成田	昌憲
笹川	堯	水野	明久	番匠	幸一郎	高橋	義博
佐藤	浩市	北川	薫	秋山	肇	椎川	忍
竹田	恆正	岩城	光英	八田	英二	浅川	伸
堀	達也	佐々木	郁夫	達増	拓也	小笠原	直樹
吉村	美栄子	須佐	喜夫	大井川	和彦	福田	富一
渡辺	幸男	上田	清司	森田	健作	山本	博
鴻	義久	後藤	斎	馬場	潤一郎	阿部	守一
石井	隆一	谷本	正憲	川勝	平太	大村	秀章
鈴木	英敬	小野木	孝二	河本	英典	牧野	明次
荒木	一聡	土佐	忠雄	仁坂	吉伸	中永	廣樹
溝口	善兵衛	越宗	孝昌	神出	亨	村岡	嗣政
渡邊	智樹	飯泉	嘉門	中村	時広	青木	章泰
小川	洋	山口	祥義	中村	法道	甲斐	隆博
広瀬	勝貞	春山	豪志	三反園	訓	佐久本	嗣男
藤江	陽子	齋藤	福栄	鈴木	敏之	安達	栄
増井	国光	山本	芳男	関	孝治	石川	与三吉
野田	富久	山本	正雄	山岸	猛夫	中川	平一
田中	敏幸	斉藤	新緑	松井	拓夫	松田	泰典
笹岡	一彦	佐藤	正雄	田村	康夫	仲倉	典克

参 与

糍谷 好晃	大久保 衛	畑 孝 幸	大森 哲男
西本 正俊	鈴木 宏紀	田中 宏典	西畑 知佐代
小寺 惣吉	島田 欽一	中井 玲子	細川 かをり
宮本 俊	小堀 友廣	力野 豊	西本 恵一
辻 一 憲	長田 光広	井ノ部 航太	清水 智信
藤田 穰	山田 賢一	吉井 正雄	西野 里佳
八田 嘉一郎	南部 隆保	原 公 樹	岩壁 明美
中村 保博	櫻本 宏	豊北 欽一	清水 英男
池田 禎孝	安倍 暢宏	江端 誠一郎	向出 茂三
大槻 英治	国久 敏弘	北 慶 一	南 英 治
辻 謙 二	小林 高正	宇野 義規	滝澤 幹滋
吉川 雄二	川田 達男	山崎 俊太郎	杉山 弘行
小倉 浩一郎	稲田 俊彦	刀根 尚之	井上 政夫
藤田 清憲	田中 幸治	小八木 隆	荻原 昭人
佐飛 敏治	稲山 幹夫	江守 康昌	前田 征利
横山 龍寛	松田 匡彦	天谷 幸弘	勝木 健俊
大中 正光	樋村 禎子	清川 忠	子末 とし子
宇佐美 嘉一	林 正 岳	吉田 真士	伊東 忠昭
大野 敬三			
河内 由博	榎井 圭子		
菊 幸 一	鈴木 浩二	飯坂 尚登	今井 純子
池田 めぐみ	川原 貴	坂井 利郎	三戸 一嘉
柴田 益孝	菅原 哲朗	高橋 有紀子	友永 義治
松田 基子	松永 敬子	山本 浩	横田 匡俊
大塚 和弘	丹羽 治夫	若原 匡	石田 奈緒子
根本 聡	米山 隆	中堂 蘭 哲郎	相坂 譲
齊藤 譲	坂口 純弘	近本 彰	木村 誠
根本 光憲	岩田 史昭	吉田 優子	白 寄 淳
吉野 和雄	坂本 裕一郎	西川 聡	
大嶋 康弘	高橋 聖一	植田 昌利	富田 政利
野崎 拓哉	山本 伊知郎	杉原 治	樋山 茂
小泉 芳孝	佐久間 裕司	野村 俊郎	畠山 睦夫
末柄 勝	森 信 和	舟喜 信生	高野 修
高橋 博史	柳下 秋久	金崎 正久	對馬 英人
藤熊 昇	伊藤 一人	西田 孝宏	田口 大祐
鍵山 博	網代 忠弘	磯村 幸二	西原 斗司男
津田 博司	日下 修次	木野内 毅	衛藤 敬輔

委員 長
副委員 長
総務委員

委 員

丸石博	中段由美	佐藤直亮	山中博史
竹中雅彦	東敏昭	関口孝則	廣岡覺
東野真理子	田中徹	山岸弘宜	永井太介
伊藤圭悟	大石陽子	川井寿裕	越政樹
関伸夫	山本幸男	内堀克則	渋谷雄輝
玉井洋行	横井雄介	神野元宏	石川俊文
小澤陽	野友宏則	橋本和也	刀禰幸広
小杉敏明	吉田浩樹	南谷憲児	牧野昭夫
重森俊道	志々場修二	南部則雄	石丸幸夫
工藤啓一郎	駒木康伸	百瀬克浩	益子雄行
田代哲郎	新井徹	依田英樹	加藤俊文
河野和久	櫻山周	前島斉	本間由美子
新井恵	内山充栄	片山達也	吉住理恵子
東浦宏幸	狩野靖	辻睦弘	村上昌司
田中実	長島良行	三原耕治	太田裕司
小西慎太郎	佐藤正範	山口徹尚	小原博文
田上敦則	渡辺浩三	松本光裕	友澤義弘
中島勝海	寺崎雅巳	旗生康之	山本忠敬
萩尾英司	寺前重幸	金村禎和	山本馨
薩川昌則	武田浩一	河本弘	岩波輝明
林泰章	田中新太郎	川原三男	中尾俊治
有澤寛	岡林美津夫	住吉徳彦	

〔3〕競 技 会 役 員

名誉会長	森下 裕	若狭町長
会 長	椎川 忍	公益財団法人日本ゲートボール連合会長
副 会 長	吉田 淳夫 松井 拓夫 泉原 功	若狭町スポーツ協会会長 福井県ゲートボール協会会長 「福井しあわせ元気」国体若狭町実行委員会事務局長
顧 問	原田 進男 玉井 喜廣	若狭町議会議長 若狭町教育長

参 与

藤本 武士	熊谷 勸信	渡辺 英朗	島津 秀樹	辻岡 正和	坂本 豊	今井 富雄	北原 武道	福谷 洋
清水 利一	小堀 信昭	小林 和弘	松本 孝雄	出口由喜美	喜多 治	田中 正志	立井 涼子	中村 良隆
森川 克己	谷口 壽	永江 寿夫	二本松 正広	藤本 斉	深水 滋	木下 忠幸	岡本 隆司	山口 勉
三宅 宗左	松宮 登志次	岸本 晃浩	吉村 忠康	田中 孝明	小林 庄一	大久保 雅子	山本 和男	山崎 和男
国川 清	浜本 一夫	吉川 豊	古崎 邦夫	松原 藤夫	高橋 昇	戸部 英一	久米田 勇二	三浦 宏
小野寺 五典	加藤 義光	尾形 源二	安瀬 義正	石野 雅昭	船田 元	深代 栄三	土屋 品子	石井 準一
丸川 珠代	岡田 喜久雄	泉田 裕彦	中川 忠昭	石坂 修一	關本 逸兵	平林 操	松村 多美夫	土居 征夫
鈴木 克昌	宮田 淳	酒井 康雄	鈴木 信久	前野 俊彦	望月 登	辻本 隼夫	東裏 登志郎	坂本 喜好
田中 政明	池田 輝美	本郷 明義	永井 健利	中村 太一	五井 敏勝	土居 英雄	上田 貢太郎	池本 直樹
蒲地 春彦	柴田 祐二	伊藤 武康	小野 悟	西村 忠喜	児玉 義人	下地 幹郎	上治 丈太郎	久米 信行
小高 幹雄	三遊亭 円楽	下光 輝一	花岡 伸和	前田 晃	松尾 哲矢	宮西 義憲	望月 美佐緒	佐藤 黎子
菅原 悟志	南木 恵一	花田 惇	東野 真理子	町田 光	若林 静子	渡邊 一利		

委 員 長

中村 健治

副委員長

堀田 美名子 松宮 吉彦 笹木 進

委 員

今井 貴哉	河合 博文	山中 健至	千田 邦夫	井上 雅貴	小堀 祐太	呉林 久徳	大下 泉	藤原 康寛
宇野 誠祐	藤川 貴浩	須賀原 宏次	山本 進	寺本 賢司	明智 貞志	河原 友和	植田 雄也	清水 久貴
井畑 信二	土肥 芳一	西端 元	森 正義	堀江 肇	平沢 治男	安下 省三	関口 孝則	

〔4〕競 技 役 員

総務委員長

菅野 道雄

総務副委員長

手鹿 哲夫

総務委員

吉田 勝征 山竹 順一郎 一瀬 正輝 田中 一晴 原 智津栄 島津 千鶴子 井上 澄子 市野 秀子 安井 幸子
藤田 育枝 伊藤 恵美子

競技委員長

中谷 恒雄

競技副委員長

楯 貞夫

競技委員

井上 傳美 柘原 直仁 山下 秀秋 山崎 卓 玉井 一彦 山田 儀一 金倉 建国 呉林 美徳 中川 安弘
山本 昇 原田 正和 山崎 勲 菅野 和枝 吉田 光子 中川 正枝 小林 まさ子 澤 あい子 原田 光子
中村 悦子 熊谷 和子 山竹 純子 大上 晴美 井ノ口 栄子 新田 昭子
(記録)
竹嶋 秀治 竹村 清一 浅井 義一

審判委員長

田中 松美

審判副委員長

小林 稔

審判委員

稲井田 幸作 多田 年実 田中 和視 浅田 敏夫 石田 正美 村上 国夫 馬田 辨治 桜谷 義男 大久保 典夫
嵐 金男 奥村 次男 長久 照夫 丹羽 栄禧 石橋 正一 山下 長治 多田 千年 前田 信夫 石塚 善栄
加茂 利雄 橋本 宗樹 武田 久 大塩 輝夫 小畑 武治 今川 善雄 竹内 よし子 稲井田 憲子 石川 弘子
児玉 富久子 藤島 襄子 奥村 美佐枝 長谷川 富枝 五十嵐 和子 五島 英子 嵐 妙子 手鹿 まゆみ 大畑 三重子
丹羽 ナツミ 石橋 美代子 水島 すみ子 橋本 富美子 池田 栄津子 知場 照美 中谷 千恵 山下 文子 渡辺 博子
小堀 淑子 常田 瞭子 山川 和枝 石丸 昌史郎 岡本 庄司 田辺 活己 辻 克己 成田 岩雄 早川 泰男
秋山 たき江 水永 恵子 藤原 さよ子

〔5〕 競技運営要項

1. 本大会に参加するすべての監督および競技者はドーピング検査を受ける可能性がある。
2. インサイドラインの区画は幅5cmのテープを使用し、アウトサイドラインとフリーゾーンの区画はロープを使用する。
3. 大会使用球は主催者が認定品を用意する。
4. 監督・主将の表示マークはチームが用意する。
5. 競技開始前の確認時および競技出場時に統一したユニフォームを着用しない競技者がいるチームは不正出場とし、その競技は没収となり、相手チームの勝ちとする。
6. 競技の没収があった場合は次のとおりとする。
 - (1) 競技の没収についての得点は定めない。
 - (2) 没収より前までの競技の成績はそのままとする。
 - (3) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、それまでの成績にかかわらず、そのリーグの代表になれない。
 - (4) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、この大会において、没収より後の競技に参加することができない。
7. 競技時間等の変更を余儀なくされた場合については実施本部が決定する。
8. 上記1. ～ 7. およびその他の事象が発生した場合の最終判断は実施本部が決定する。

〔6〕 式次第

開始式

9月1日(土) 9:45～10:05

1. 開式通告
2. 国歌斉唱
3. 公益財団法人日本ゲートボール連合会長挨拶
4. 若狭町長祝辞
5. 選手宣誓
6. 閉式通告

※荒天(石川県の能登を中心に土砂災害や川の氾濫などの水害をもたらした記録的大雨)により、開始式は中止となった。

表彰式

9月2日(日) 13:30～13:50

1. 開式通告
2. 表 彰
3. 福井県ゲートボール協会会長挨拶
4. 閉式通告

〔7〕 競 技 日 程

監督会議・ 組合せ抽選会	8月31日(金) 15:00～17:00	若狭町中央公民館 (リブラ若狭)
-----------------	----------------------	---------------------

会場	期日	時間	区分	試合数	【男子】	【女子】	
若狭さとうみパーク	【第一日】 9月1日(土)	9:00～9:30	チーム受付				
			リーグ戦				
		10:30～11:00	第1試合	(8試合)	A:B	A:B	
		11:15～11:45	第2試合	(8試合)	C:D	C:D	
		昼食					
		12:30～13:00	第3試合	(8試合)	D:A	D:A	
		13:15～13:45	第4試合	(8試合)	B:C	B:C	
	14:15～14:45	第5試合	(8試合)	C:A	C:A		
	15:00～15:30	第6試合	(8試合)	B:D	B:D		
	【第二日】 9月2日(日)	8:40～9:00	チーム受付				
			決勝トーナメント戦				
		9:20～9:50	1回戦	(8試合)	M1～M4	F1～F4	
		10:10～10:40	準決勝	(4試合)	M5・M6	F5・F6	
		11:10～11:40	3位決定戦	(2試合)	M7	F7	
11:55～12:25		決勝	(1試合)		F8		
12:40～13:10		決勝	(1試合)	M8			

表彰式	9月2日(日) 13:30～13:50	若狭さとうみパーク
-----	---------------------	-----------

〔8〕 都道府県別参加人員

地域協議会	番号	都道府県	男子		女子		合計		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北海道	1	北海道	1	5	1	5	2	10	12
東北	2	青森県	1	5			1	5	6
	3	岩手県			1	6	1	6	7
	4	宮城県							
	5	秋田県	1	6			1	6	7
	6	山形県			1	6	1	6	7
	7	福島県							
北関東	8	茨城県							
	9	栃木県	1	6			1	6	7
	10	群馬県							
南関東	11	埼玉県			1	5	1	5	6
	12	千葉県							
	13	東京都	1	8			1	8	9
	14	神奈川県			1	5	1	5	6
北信越	15	山梨県							
	16	新潟県	1	7			1	7	8
	17	長野県			1	6	1	6	7
	18	富山県			1	6	1	6	7
	19	石川県	1	7			1	7	8
東海	20	福井県	1	6	1	7	2	13	15
	21	静岡県			1	5	1	5	6
	22	愛知県							
	23	三重県							
近畿	24	岐阜県	1	6			1	6	7
	25	滋賀県							
	26	京都府			1	5	1	5	6
	27	大阪府	1	7	1	6	2	13	15
	28	兵庫県	1	6			1	6	7
	29	奈良県							
中国	30	和歌山県							
	31	鳥取県	1	5			1	5	6
	32	島根県							
	33	岡山県			1	6	1	6	7
	34	広島県							
四国	35	山口県							
	36	香川県	1	7			1	7	8
	37	徳島県			1	6	1	6	7
	38	愛媛県							
九州	39	高知県							
	40	福岡県	1	5			1	5	6
	41	佐賀県							
	42	長崎県	1	6			1	6	7
	43	熊本県			1	6	1	6	7
	44	大分県			1	6	1	6	7
	45	宮崎県							
	46	鹿児島県	1	5	1	6	2	11	13
47	沖縄県								
合計			16	97	16	92	32	189	221

〔9〕 競技会結果 リーグ戦

男 子

グループM1 5コート

対戦都道府県	長崎県	栃木県	北海道	鳥取県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
長崎県	—	5	21	11	1	2	37	48	-11		3
栃木県	18	—	9	15	2	1	42	33	9		2
北海道	9	20	—	4	1	2	33	48	-15		4
鳥取県	21	8	18	—	2	1	47	30	17		1

グループM2 6コート

対戦都道府県	石川県	岐阜県	香川県	秋田県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
石川県	—	5	6	17	1	2	28	41	-13		3
岐阜県	18	—	12	16	3	0	46	22	24		1
香川県	16	9	—	17	2	1	42	26	16		2
秋田県	7	8	8	—	0	3	23	50	-27		4

グループM3 7コート

対戦都道府県	兵庫県	鹿児島県	東京都	福井県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
兵庫県	—	5	17	14	2	1	36	30	6		1
鹿児島県	10	—	7	15	2	1	32	27	5		2
東京都	9	15	—	7	1	2	31	34	-3		3
福井県	11	7	10	—	1	2	28	36	-8		4

グループM4 8コート

対戦都道府県	青森県	新潟県	大阪府	福岡県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
青森県	—	15	17	16	3	0	48	29	19		1
新潟県	7	—	9	13	1	2	29	45	-16		4
大阪府	10	17	—	8	1	2	35	51	-16	○	3
福岡県	12	13	25	—	1	2	50	37	13		2

女 子

グループF 1 1コート

対戦都道府県 都道府県	長野県	京都府	神奈川県	徳島県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
長野県	—	○ 14	8	○ 14	2	1	36	33	3		2
京都府	7	—	13	8	0	3	28	45	-17		4
神奈川県	○ 14	○ 17	—	10	2	1	41	42	-1		3
徳島県	12	○ 14	○ 21	—	2	1	47	32	15		1

グループF 2 2コート

対戦都道府県 都道府県	山形県	熊本県	富山県	静岡県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
山形県	—	6	10	8	0	3	24	46	-22		4
熊本県	○ 21	—	9	○ 21	2	1	51	27	24		2
富山県	○ 11	○ 13	—	○ 13	3	0	37	27	10		1
静岡県	○ 14	8	8	—	1	2	30	42	-12		3

グループF 3 3コート

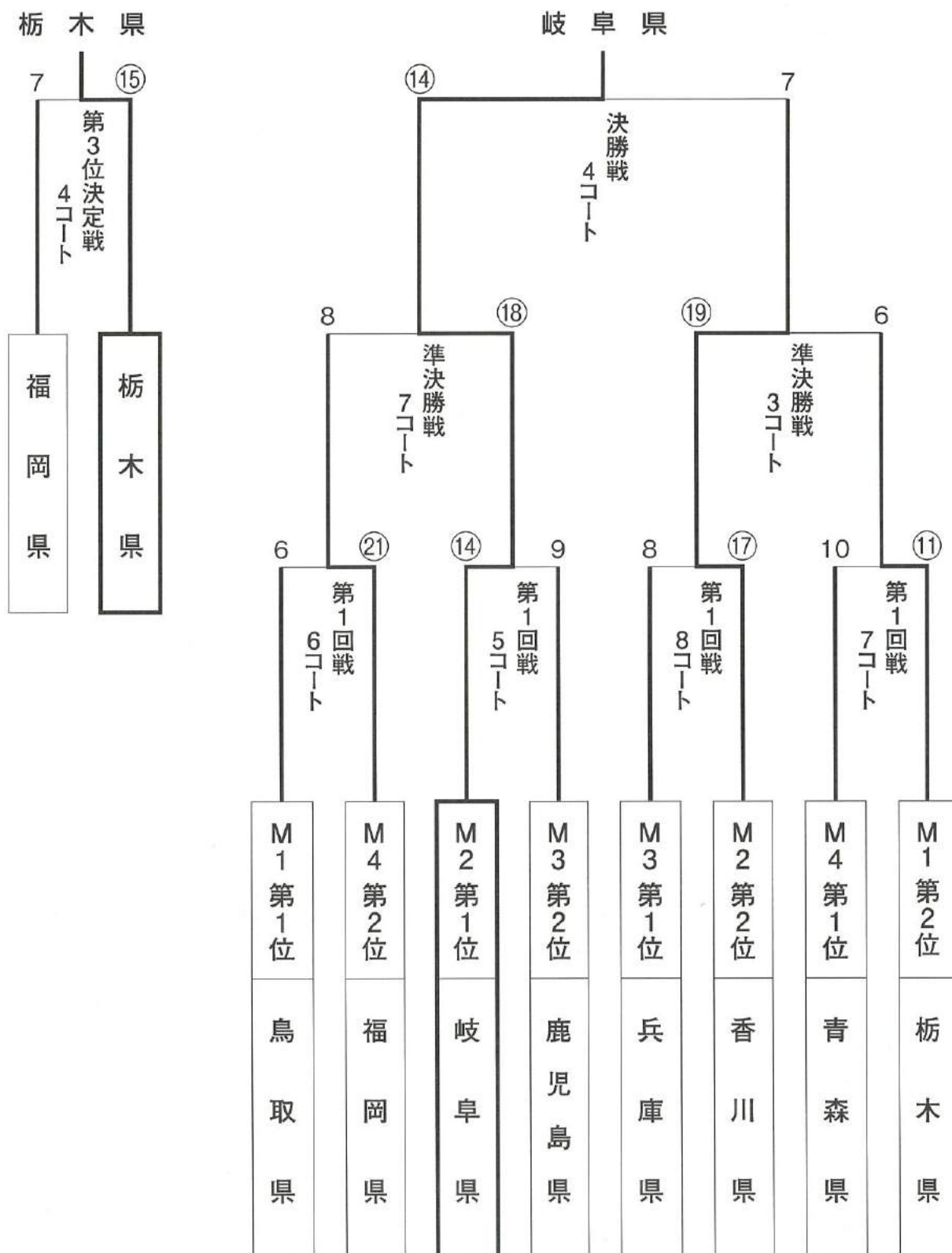
対戦都道府県 都道府県	大分県	北海道	岡山県	岩手県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
大分県	—	11	7	5	0	3	23	50	-27		4
北海道	○ 12	—	○ 11	8	2	1	31	35	-4		2
岡山県	○ 19	10	—	5	1	2	34	43	-9		3
岩手県	○ 19	○ 14	○ 25	—	3	0	58	18	40		1

グループF 4 4コート

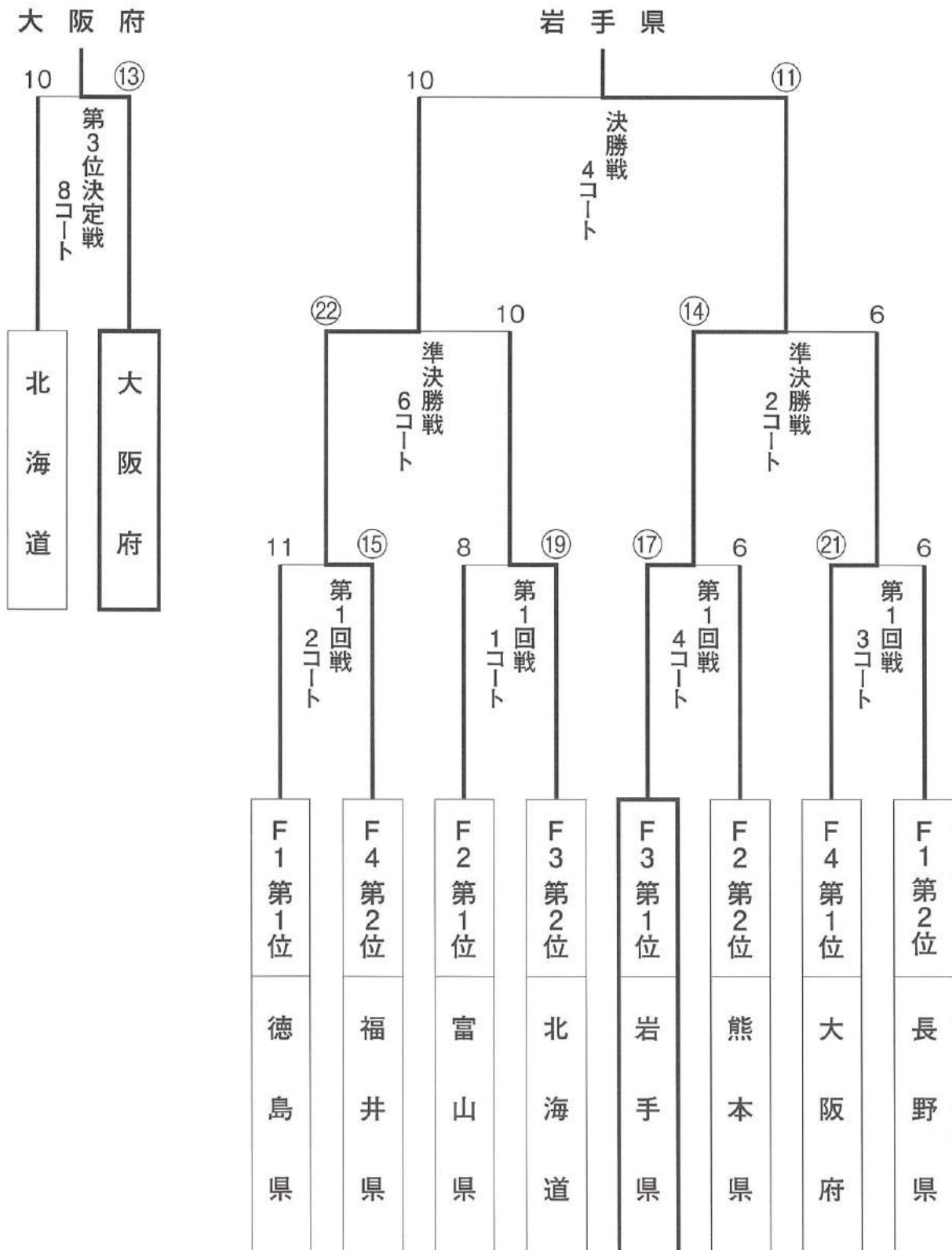
対戦都道府県 都道府県	大阪府	埼玉県	鹿児島県	福井県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
大阪府	—	○ 14	○ 14	○ 20	3	0	48	32	16		1
埼玉県	10	—	11	8	0	3	29	41	-12		4
鹿児島県	12	○ 12	—	9	1	2	33	41	-8		3
福井県	10	○ 15	○ 16	—	2	1	41	37	4		2

トーナメント戦

男子



女子



入賞チーム一覧

■男子

順位	都道府県名	人数
第1位	岐阜県	7
第2位	香川県	8
第3位	栃木県	7

■女子

順位	都道府県名	人数
第1位	岩手県	7
第2位	福井県	8
第3位	大阪府	7

〔10〕 協賛・協力企業各社

株式会社日本旅行
株式会社日本レジャーチャンネル
株式会社シャトル

〔11〕 テレビ放送

媒体名：スカパー！（デジタル衛星放送 680ch）

番組名：JLC「スーパーゲートボール」

女子決勝トーナメント戦・準決勝

初回放送日：平成30年 9月29日（土） AM 6：00～6：55

再放送日：平成30年 10月6日（土） AM 6：00～6：55

男子決勝トーナメント戦・3位決定戦

初回放送日：平成30年 9月30日（日） AM 6：00～6：55

再放送日：平成30年 10月7日（日） AM 6：00～6：55

女子決勝トーナメント戦・決勝

初回放送日：平成30年 10月13日（土） AM 6：00～6：55

再放送日：平成30年 10月20日（土） AM 6：00～6：55

男子決勝トーナメント戦・決勝

初回放送日：平成30年 10月14日（日） AM 6：00～6：55

再放送日：平成30年 10月21日（日） AM 6：00～6：55



公開競技きょうから

若狭町でゲートボール

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」公開競技のゲートボールが1日、正式、特別、公開競技のトップを切って若狭町の若狭さとうみパークで始まる。福井県男女を含め、全国各ブロック代表の男女各16チーム、2025人が参加。50年ぶりに福井で開催されるスポーツの祭典の熱戦が一足早く幕を開ける。

【3面に関連記事】

公開競技は、入賞得点を競う天皇杯（男女総合成績）や皇后杯の対象となる正式競技とは別に、生涯スポーツの推進を目的に行われる。

初日は予選リーグがあり、福井県男子（冠崎はやぶさ）、同女子（敦賀ひまわり）が挑む。男女それぞれ、予選リーグ各組上位2チームの計8チームが最終日2日の決勝トーナメントに進出する。

地元若狭町民、県ゲートボール協会員らが会場案内や審判員などとして運営をサポートする。大会本部によると、競技は雨天決行で、荒天の場合のスケジュール変更は1日午前6時半に判断した後、福井国体ホームページに掲載する。

公開競技はこのほか、綱引

き（勝山市）、パワーリフティング（大野市）、グラウンドゴルフ（若狭町）が22、23日に行われる。正式競技は37あり、9日のビーチバレーボール（小浜市）で始まる。総合開会式は29日、福井市の98スタジアム（県営陸上競技場）で行われる。

（佐々木紀光）

福井国体・障スポに向け、県内各市町の炬火が一つになった集火式＝1日午後2時15分ごろ、福井市のハビテラス(柿木孝介撮影)



炎融合 成功誓う

福井で炬火集火式

開辨まで1カ月を切った福井しあわせ元気国体と、福井しあわせ元気大会(全国障害者スポーツ大会)障スポ)に向け、福井市のハビテラスで1日、県内全17市町で採火された炬火を一つにする集火式が行われた。市民らの思いを込めた炬火が受け皿で「融合」し県の炬火が誕生。燃え上がる炎に関係者は大成功を誓い合った。(中野克規)

【3、17、31面に関連記事】

公開競技始まる

2018 福井しあわせ元気国体大会

国体・障スポ開催30日前をPRするイベント「はびりゅうフェスタ2018」の一環として、県実行委員会が企画した。炬火は五輪の聖火に当たり、両大会の象徴となる。各市町が1～8月に、昔ながらの道具を使った方法や伝統行事な

どで採火した。式では各市町代表がトーチを掲げて登場。国体パレール成年男子の清水邦広選手、障スポパレール聴覚障害者の部女子の丸山彩香選手、実行委会長の西川一誠知事が持つトーチに炬火を引き継いだ。炬火は3人によって受け皿にまとめられ大きな炎となり、会場から拍手が沸き起こった。

西川知事は「みんなで力を合わせ福井を盛り上げ、幸せと元気を届けましょう」とあいさつ、会場に集まった約500人に対し両大会への参加を呼びかけた。炬火は、29日に福井市の99スタジアム(県営陸上競技場)で行われる国体総合開会式で炬火台に点火され、障スポに引き継がれる。集火式後のトークライブで清水選手は、障害者スポーツの体験を話し「いろんな競技があり、奥が深く面白い。ぜひ会場に足を運んで見てほしい」とアピールした。

イベントではバトンやダンスのステージもあり、開催機運を高めた。2日はハビテラスと福井駅前電車でスポーツ体験会などを繰り広げた。また福井国体の公開競技の出場。雨が降り肌寒い中でのゲームだったが、選手たちははつらつとプレーしていた。競技は2日まで行われる。

【2刊にもっと写真】

皮切りとしてゲートボールが1日、若狭町の若狭さとうみパークで始まった。全国から男女各16チーム、計224人

おもてなし 早くも本番

若狭町の若狭さとうみパークで1日始まった福井しあわせ元気国体の公開競技のゲートボール会場で、多くの運営ボランティアや町民らが全国から集まった選手らをもてなし、国体正式競技に先駆け、いち早く歓迎ムードに包まれた。あいにくの雨で開始式などのイベントは中止となったが、選手たちに町特産の岩屋梨を振る舞うなど、笑顔で交流した。

【青木伸方】(1面に本記)

若狭町で公開競技ゲートボール

特産ナシ振る舞い 笑顔で交流



福井国体公開競技のゲートボール会場で振る舞われた若狭町特産の岩屋梨を味わう選手ら。1日、同町の若狭さとうみパーク

福井国体 2018

2018
福井
しあわせ
元気国体



会場の競技コート脇などにプラランター約400個が並び、町内の各団体がこの目のために育てた赤やオレンジ、ピンクなど色とりどりの花々が、選手や監督、審判員ら約350人の参加者を出迎えた。1968年の1巡目福井国体でも会場を彩ったサルビアやマリーゴールドも見られた。

岩屋梨を無料で振る舞うブースは人垣ができ、選手たちが取れたてのナシ「秋栄」を頬張り、「甘くておいしい」「すくくジュシー」と話していた。

白熱した試合を間近で見守る町民も多く、福井県チームに「いけいけ」「よっしゃ」と声援を送った。観戦していたゲートボール愛好者の清水房枝さん(73)は「全国規模の大会はなかなか見る機会がないからうれしい。対戦したくなっちゃう」とほほ笑んだ。



夫婦と雨の団体挑戦だ。福井県男子チームの森川夫婦（池田）は、福井県ゴルフ協会主催の「福井県公開競技」で、福井県女子チームの森川夫婦と対戦した。森川夫婦は、福井県女子チームの森川夫婦と対戦した。

2人で挑戦 何より幸せ

女子攻勢 決勝T進出



福井団体 2018

第3戦 一丸前年覇者下す



公開競技 スタート

福井県公開競技の初日は、9月1日（水）にスタート。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。

男子は敗退

公開競技の初日は、福井県男子チームが福井県女子チームと対戦した。福井県男子チームは、福井県女子チームと対戦した。福井県男子チームは、福井県女子チームと対戦した。

男子監督、選手の森川夫婦（池田）

福井県男子チームの森川夫婦（池田）は、福井県ゴルフ協会主催の「福井県公開競技」で、福井県女子チームの森川夫婦と対戦した。森川夫婦は、福井県女子チームの森川夫婦と対戦した。

年下と切磋琢磨 笑顔

年下と切磋琢磨した森川夫婦。夫は、福井県男子チームの森川夫婦と対戦した。森川夫婦は、福井県女子チームの森川夫婦と対戦した。

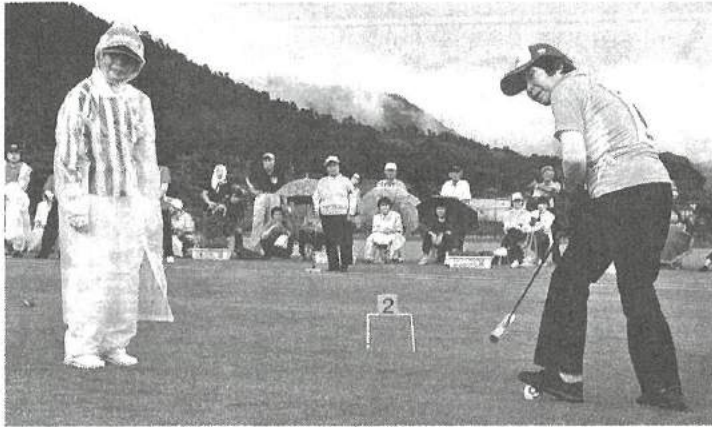
福井県女子チームの森川夫婦は、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。

福井県女子チームの森川夫婦は、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。

福井県女子チームの森川夫婦は、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。

福井県女子チームの森川夫婦は、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。

福井県女子チームの森川夫婦は、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。福井県女子チームは、福井県男子チームと対戦した。



●観客に見守られてプレーする県代表チームの選手（若狭町で）●炬火受け皿に点火する清水選手（左）、西川知事（中央）、丸山選手（福井市で）

18 福井国体



近づく福井国体、全国障害者スポーツ大会（障スポ）の開幕——。正式競技を前

一足早く公開競技開幕

若狭 ゲートボールに32チーム

に、公開競技・ゲートボールの競技会が1日、若狭町で始まった。福井市では、県内全17市町で採火した火を一つに集める炬火集火式があり、機運が高まってきた。

ゲートボールは、「若狭

さとうみパーク」で開催。県代表を含む男女各16チーム計224人が参加した。公開競技は健康増進などを目的に、県内の計3市町で4競技が行われる。

この日はリーグ戦が行われ、2日の決勝トーナメント進出を懸けて対戦した。県代表の一人として出場した敦賀市のステンドグラス工房代表・俵清美さん(74)は「国体に出られるなんて一生に一度。名誉なこと」と喜んでいった。

公開競技 若狭町で始まる



県勢女子が 決勝T進出

全国224人参加

福井国体で実施される公開競技のトップを切ってゲートボールが一日、若狭町の「若狭さとうみパーク」で始まった。雨のため開始式は中止となったが、男女各十六チームによるリーグ戦を行い、県勢は女子チームが二日の決勝トーナメントに進出した。



県代表の女子は敦賀市の七十代七人で編成し、2勝1敗で2位通過した。主将の柴田すみ子さん(毛モ)「助生野」は「地元の人々の前で一日でも多く戦えるのがうれしい」と決勝トーナメント進出の喜びを語った。

男子は越前市と池田町の四十〜八十代の六人で臨んだ。持ち味というチームワークの良さで東京都を破ったものの、兵庫県と鹿児島県に連敗し、リーグ戦突破はならなかった。

雨でグラウンドがぬかるみ、選手たちは転がりにくいボールのコントロールに

7福井▽順位 ④福井 落選
【女子】▽リーグ戦 福井15-8
埼玉、福井16-9鹿児島、大阪20-10福井▽順位 ②福井 決勝トーナメント進出

公開競技ゲートボール 県女子 決勝T進出



県勢女子チームの選手(中)若狭町の若狭さとうみパークで

福井国体で実施される公開競技のトップを切ってゲートボールが一日、若狭町の「若狭さとうみパーク」で始まった。雨のため開始

式は中止となったが、男女各十六チームによるリーグ戦を行い、県勢は女子チームが二日の決勝トーナメントに進出した。

県代表の女子は敦賀市の七十代七人で編成し、2勝1敗で2位通過した。主将の柴田すみ子さん(毛モ)「助生野」は「地元の人々の前で一日でも多く戦えるのがうれしい」と決勝トーナメント進出の喜びを語った。

男子は越前市と池田町の四十〜八十代の六人で臨んだ。持ち味というチームワークの良さで東京都を破ったものの、兵庫県と鹿児島県に連敗し、リーグ戦突破はならなかった。

雨でグラウンドがぬかるみ、選手たちは転がりにくいボールのコントロールに

苦戦しながらも熱戦を繰り広げた。県勢の試合では、大勢の応援団が熱い声援を送っていた。

公開競技の残り三競技は二十二、二十三の両日、綱引が勝山市で、パワーリフティングが大野市で、グラウンド・ゴルフが若狭町でそれぞれ行われる。

(高野正憲)

◇県勢の成績

【男子】▽リーグ戦 東京10-7福井、兵庫14-11福井、鹿児島15-

(高野正憲)

◇県勢の成績

【男子】▽リーグ戦 東京10-7福井、兵庫14-11福井、鹿児島15-7福井▽順位 ④福井 落選
【女子】▽リーグ戦 福井15-8埼玉、福井16-9鹿児島、大阪20-10福井▽順位 ②福井 決勝トーナメント進出

女子決勝で攻める福井県女子チーム＝若狭町の若狭さとうみパーク
(佐々木紀光撮影)



福井国体公開競技のゲートボール最終日は2日、若狭町の若狭さとうみパークで決勝トーナメントが行われた。決勝に勝ち進んだ福井県女子（敦賀ひまわり）広田春枝、杉本富子、滝本喜久美、柴田すず子、清水幸子、佐清美は、一昨年覇者の岩手に10-11で惜敗したが、県勢過去最高順位に並ぶ準優勝に輝いた。（佐々木紀光）

女子 声援力に準V

決勝 岩手に惜敗



ゲートボール競技は2015年和歌山国体から公開競技に採用され、この4年目。福井県は和歌山国体、16年岩手国体ともに女子（福井レディース）池田町が連続で準優勝している。決勝で、福井県女子は岩手

に主導権を握られた。後半猛攻を任せて1点差にまで迫ったが力尽きた。福井県女子は前日の予選リーグで2勝1敗の位置通過。この日の決勝トーナメント1回戦は徳島に15-11で逆転勝ち。準決勝は前半から積極的に攻めて北海道を圧倒、22-10で快勝した。山本竹司監督は「全国大会ではないのも予選をばかりだったが、前日の予選リーグで勝って自信が付き、決勝ト

終盤猛追 1点差迫る

25分経過後、残り5分で6-10。敗色濃厚な状況から、福井県女子の猛攻が始まった。公開競技ゲートボールの決勝。だれもが最後まで諦めていなかった。

複数で連携し確実にポイントを奪う一昨年覇者の岩手に対し、福井県女子はリズムに乗れなかった。球をコート外に次々とはき出され、攻め手を欠いていた。

杉本や広田のショットでポイントを奪うが、差は詰まらな。ここで最後の意地をみせたのは懐だった。味方球にタッチしてゲートを通さず、せ自らも運すると10-11、77歳の6人が譲せず、楽しく弾んでいた。（佐々木）

福井国体 2018

- ゲートボールの県勢
- ◆県勢7位成績◆
 - ▽男子①岐阜の香川③熊本
 - ▽女子決勝トーナメント1回戦 福井15-11徳島
 - ▽同準決勝 福井22-10北海道
 - ①岩手②福井③大阪

県勢女子が準優勝

公開競技



福井国体公開競技のゲートボールは最終日の二日、若狭町の「若狭さとうみパーク」で男女の決勝トーナメントが行われ、女子の福井県は準優勝に輝いた。

ゲートボール女子の部で準優勝した県チーム＝若狭町の若狭さとうみパークで（公益財団法人日本ゲートボール連合提供）



道に22-10と快勝。決勝は岩手相手に熱戦を展開したが、10-11と一歩及ばず頂

点は逃した。主将の柴田すみ子さん（七五）＝敦賀市助生野＝は「思ってもみなかった結果でうれしい。地元の方々の声援のおかげでここまでできた」と喜びを語った。決勝戦については「ここで勝てば1位という思いが頭の中にあり、みんな緊張してしまった」と話した。これから福井国体に出場する県勢選手に対して「自分たちの持っている力を出せば、結果は付いてくる」とエールを送った。

県勢惜しくも準優勝

国体公開競技 ゲートボール女子

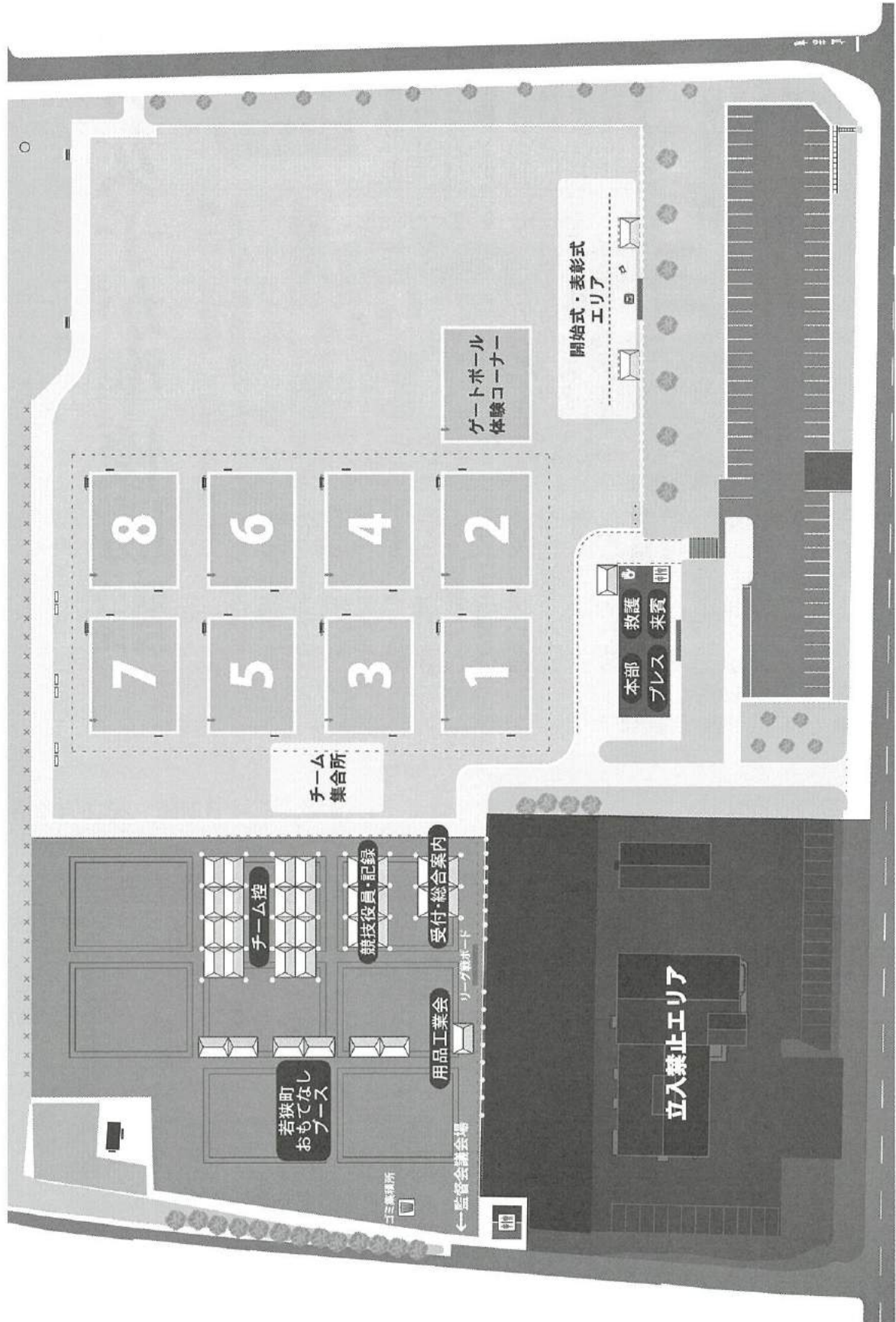
福井国体公開競技のゲートボールは最終日の二日、若狭町の「若狭さとうみパーク」で男女の決勝トーナメントが行われ、女子の福井県は準優勝に輝いた。



福井県は決勝トーナメント一回戦で徳島県に15-11で勝つと、準決勝では北海道に22-10と快勝。決勝は岩手相手に熱戦を展開したが、10-11と一歩及ばず頂点は逃した。

ゲートボール女子の部で準優勝した県チーム＝若狭町の若狭さとうみパークで（公益財団法人日本ゲートボール連合提供）

〔12〕 会場図



記 録 写 真

監督会議 若狭町中央公民館（リブラ若狭）

第73回国民体育大会



公開競技 ゲートボール競技会
組合せ抽選会

福井しあわせ元気国体2018
福井県民体育大会 福井県民体育大会 福井県民体育大会

【男子】

5コート	7コート
A 長野県	A 兵庫県
B 栃木県	B 鹿児島県
C 北海道	C 東京都
D 鳥取県	D 福井県

【女子】

1コート	3コート
A 長野県	A 大分県
B 京都府	B 北海道
C 神奈川県	C 岡山県
D 徳島県	D 岩手県

6コート	8コート
A 石川県	A 青森県
B 岐阜県	B 新潟県
C 香川県	C 大阪府
D 秋田県	D 福岡県

2コート	4コート
A 山形県	A 大阪府
B 熊本県	B 埼玉県
C 富山県	C 鹿児島県
D 静岡県	D 福井県



アンチ・ドーピング研修会



公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
教育トレーナー 栗本 宣和 氏



会場風景

第73回国民体育大会



若狭町によるおもてなし

第73回国民体育大会



ハイライト男子

第73回国民体育大会



ハイライト女子

第73回国民体育大会



表彰式

第73回国民体育大会



福井県ゲートボール協会 会長 松井 拓夫



女子：第1位 岩手県



男子：第1位 岐阜県



女子：第2位 福井県 男子：第2位 香川県



女子：第3位 大阪府 男子：第3位 栃木県





第1位 岐阜県



第2位 香川県



第3位 新潟県

入賞チーム 女子

第73回国民体育大会



第1位 岩手県



第2位 福井県



第3位 大阪府

賞状・メダル等

第73回国民体育大会



賞状



入賞メダル (第1位・第2位・第3位)



ゼッケン



開催要綱



競技別プログラム



